大阪市老人クラブ徽章

全国３大運動
健康・友愛・奉仕をめざして
市内全会員に配布

月刊大老連

平成26年　8月号
第673号　毎月１日発行
平成26年（2014年）８月１日
定価30円（送料別）　年間購読料1,100円（送料共）
購読お申し込みは、月刊大老連編集室にご連絡ください。

昭和33年９月19日第三種郵便物認可
〒556－0017
大阪市浪速区湊町１－４－１
ＯＣＡＴビル
発行所　一般社団法人
大阪市老人クラブ連合会
編集室　電　話 06(6635)3227
ＦＡＸ 06(6635)3229

近畿ブロック老人クラブリーダー研修会

315名が参加し盛大に開催

神戸市

「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに、平成26年度近畿ブロック老人クラブリーダー研修会が、6月12日（木）～13日（金）の両日、神戸市垂水区のシーサイドホテル舞子ビラ神戸において、神戸市老連の担当で開催されました。近畿6府県4指定都市から老人クラブリーダー315名が参加する中で、大老連からは中保昌理事長をはじめ17名が参加して、真剣かつ熱心に研修に取り組みました。

開会のあいさつをする中保昌近畿老人クラブ連絡協議会会長

第1日目の開会式では、大老連理事長である中保昌近畿老人クラブ連絡協議会会長から「わが国の人口の高齢化は加速しており、今後の高齢社会をより豊かで充実したものにするためには、老人クラブの果たす役割はますます高まっている中で、近畿ブロック老連のリーダーが一堂に会し、老人クラブの抱える課題について研究討議を深め、情報交換を行うこのような機会は極めて重要であり、有意義な研修会となるよう祈念いたします」とのあいさつがあり、続いて、三木孝神戸市保健福祉局長（山平晃嗣保健福祉局高齢福祉部長代読）、中川徳一郎神戸市社会福祉協議会常務理事から来賓祝辞がありました。

第１分科会で座長を務める
高橋易子北区老連副会長

次に、河野敦子全老連参事から「全国『100万人会員増強運動』の推進」と題して、基調報告がありました。

続いて、4つの分科会に分かれて研究討議が行われ、事例発表に基づく意見交換が活発かつ熱心に行われました。その中で、第1分科会では、北区の高橋易子区老連副会長が座長を務めますとともに、第4分科会では、中央区の川崎正明森ノ宮城南会会長が事例発表を行いました。

基調報告をする河野敦子全老連参事

第４分科会で事例発表をする
川崎正明中央区森ノ宮城南会会長

4つの分科会のテーマは次のとおりです。

第1分科会「健康づくり・介護予防活動」の推進▽第2分科会「地域支え合い活動」の推進▽第3分科会「地域団体と連携したまちづくり・次世代育成支援活動」の推進▽第4分科会「会員加入促進に向けた仲間づくり活動」の推進

第2日目は、いきいきクラブ体操でスタートし、橋田亨神戸市立医療センター中央市民病院院長補佐・薬剤部長から「薬のはなし」と題して、薬の使い方・効用などについて分かりやすいやさしい口調で、大変参考になる有意義なお話があり、会場は熱気に包まれました。

講演する橋田亨中央市民病院薬剤部長

次に、全体会議として、神戸市老連理事長の大辻正忠近老協副会長の座長のもと、それぞれの分科会において討議された内容が各分科会の代表から報告されるとともに、中近老協会長からは「今回の研修会は、今後の老人クラブ活動の発展と高齢者福祉の向上を図るうえで、意義ある実り多い内容でありました」との総括的な講評が行われました。

最後に、開催地であります大辻神戸市老連理事長のお礼のあいさつ、続いて、次回開催地であります山本勇作滋賀県老連会長のあいさつがあり、堺市老連会長の西野喜代司近老協副会長からの閉会のあいさつで、2日間にわたる研修会を滞りなく終了しました。

参加者全員でいきいきクラブ体操

今後の主な事業予定

9月9日	大阪市高齢者福祉大会
9月24日	第53回大老連供養塔法要
11月13日～14日	第43回全国老人クラブ大会
11月18日	第15回大老連ペタンク大会
平成27年1月16日	老人クラブ指導者・女性部指導者合同研修会
平成27年1月下旬	第3回大老連カラオケ大会

高齢期につれづれに想うこと…

大阪市立大学
非常勤講師　竹村　安子

随意随想

姉も私も、二・三年前から膝・腰が痛くなり、変形性膝関節症の中期と診断された。ヒアルロンサン等の注射をしてはと言われているが、その注射が痛いと聞き、怖くて、まだ整形外科には通っていない。

そのような状態なので、大掛かりな掃除や片付けは、なかなか「やる気」にならない。そろそろ、ベランダの大掃除をしなければと思うのだが、なかなか身体も気も動かない。ベランダ掃除のために高圧洗浄機も買ったのだが…。

こんな私が住んでいる区で、有償による助け合い事業が始まっている。1時間800円、30分400円で高齢者の困りごとに対応してくれるとのこと。今年は、そこにお願いしようかと思っているが、家の中の整理が十分でないので、他人に家に入ってもらうのが恥ずかしい。もうちょっと整理してから依頼しようと、姉と話している。

そんなことを話している時に、テレビを見ると、高齢者の「ゴミ屋敷」に近隣が困って、行政に撤去を依頼しているが、高齢者がなかなか応じてくれないというニュースがとびこんできた。それを見ながら、ここまでひどくはないが、高齢になってきて、身体も気も「やる気」がでず、整理や掃除がおっくうになってきて、また、必要ない物でも、まだ使用できる物を捨てるのはもったいなくてなかなかできない、自分自身と照らし合わせて、納得するものがある。

有償活動の事業者のコーディネーターに、このような依頼はあるかと聞いてみると、依頼された後で、断ってくる方が多いと聞いた。やらなければと思っていても、なかなか始めにくいということを実感させられているが、これからのために、「断捨離」を少しずつやっていかなければと思っている。

また、話の中で、定期的に話し相手に来て欲しいという依頼やマンション住まいの方からの依頼があると聞いた。

私の住んでいる区は、近年、マンション、特に高層マンションが多く建ち、人口が増加している。その結果、小学校・中学校は満員状態で、保育所の待機児童は大阪市の中でもワースト1・2位という状況である。

また、働き手世代だけなく、中高年者が多く移り住むようになってきた。JR・私鉄・地下鉄あわせて8駅があって、梅田・難波・天王寺と、どこに行くにも交通の便がよく、区役所・銀行・商店街・スーパーマーケットなど、身近に行政機関や生活施設等があって便利である。その上、近年のマンションはバリアフリー仕様、オートロックで、高齢者にとっては、安心して暮らしやすいということから、近郊から引っ越してこられるという。それらの人たちは、高齢でおっくうになってきていて、また、子どもを通じてのつながりもなく、近隣の人たちや環境にうまく馴染んでいけているのだろうか。

私が住んでいるところは、神社の夏まつりが盛んで、各町からお神輿・だんじり・鉾・神輿太鼓等などがくりだし、にぎやかである。それに続いて盆踊りがあり、餅つきや今はあまり実施されていない地域運動会を実施している地域もある。老人クラブでもいろいろな活動を実施し、福祉活動では、高齢者の食事サービスや喫茶サロン、子育てサロンも実施している、地域活動の活発なところである。

しかし、それらに参加も見にくることもしない人たちが増えている。有償活動がそれらの人たちを、地域参加につなぐツールとなって欲しいと思う。

昨年、マンションの集会所で喫茶サロンを週1回立ち上げたところがある。そのマンションは40年近く前に建ち、その当時は、若年者や、子育て世代が中心であったのが、現在は、高年者が多く住むようになった。高齢者だけや一人で暮らす高齢者世帯も多いという。喫茶サロンでマンション内の人たちの交流が進んでいって欲しい、うつ病・認知症になる人が少しでも減って欲しい、なによりも楽しく活き活きと過ごして欲しいと、管理組合のリーダーたちは願っている。今、そのマンションで、有償サービス（1時間200円か300円）の実施が計画されている。

これからは一人ひとり、自らがどのように暮らしていくのかを考えなければならないと思う。そして、それと共に、連合町会（地区社会福祉協議会）というエリアだけでなく、1～2町会、1マンションなどという狭いエリアでのきめ細かな取り組みが大切になってくるだろう。

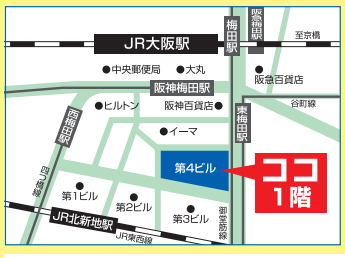
そして、その活動を最初にリードしていくのは、その課題に向き合っている高齢者自身ではないかと思う。

大阪駅徒歩6分
パナソニック補聴器プラザ大阪がご相談させていただきます。

大阪駅前で約20年間、補聴器専門店として営業を続けてきた実績のあるパナソニック補聴器プラザ大阪。言葉や音声の専門知識を持つ言語聴覚士をはじめ、経験豊富なスタッフが聞こえの相談に親身にお応えします。また個々に合った補聴器の提案もしてくれるので安心です。「聞こえの悩みは人それぞれ違います。ご自身に合った機種の選択はもちろん、症状に合わせた調整が一番大切です」と小嶋所長。「安易に買ってしまい耳に合わなかった」という失敗談も多い補聴器の購入。すでに持っている人も初めての人も、国内開発で高品質な補聴器を体験できます。「ご家族の方、ご来店が難しい方もお気軽にご相談ください」

Panasonic

目立たない小型耳かけ（左）と耳穴式（右）



認定補聴器専門店
パナソニック補聴器プラザ大阪
大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル1F
営業時間 10:00～17:30
日曜・祝日は定休日
06-6344-3348